

記 録

令和2年12月10日(木)
今市高等学校

オリンピック・パラリンピック教育推進事業 スポーツシンポジウム「スポーツを考える」

○シンポジウムの目的

- ・東京オリンピック・パラリンピックの気運を高める。
- ・オリンピック、パラリンピアン、今市高校生で「スポーツ」についての意見交換をしながらその考えを深め、参加者の豊かなスポーツライフの実現を目指す。

○コーディネーター 木村浩一郎（今市高校 保健体育科教諭）

シンポジスト 金田典子（シッティングバレーボール、北京・ロンドンパラリンピック出場）

仲田皆実（フィールドホッケー、アテネ・北京オリンピック出場）

桑原颯斗（今市高校男子フィールドホッケー部主将 3年）

高村勇吹（今市高校女子バレーボール部マネージャー 2年）

○今市高校生のスポーツについての現状（7月末アンケートより）

- | | | |
|------------------------------|-----|-------|
| ・オリンピックに興味がありますか。 | ある | 64.1% |
| ・パラリンピックに興味がありますか。 | ある | 49.0% |
| ・オリンピックにボランティアや応援で参加したいですか。 | したい | 53.9% |
| ・パラリンピックにボランティアや応援で参加したいですか。 | したい | 49.0% |
| ・これからのオリ・パライベントに参加したいですか。 | したい | 44.3% |
| ・社会や人のために役に立つことをしたいと思いますか。 | 思う | 92.6% |
| ・お年寄りや障がいのある方と交流したいと思いますか。 | 思う | 64.2% |
| ・運動やスポーツをすること、みることに興味がありますか。 | ある | 81.5% |
| ・日本の伝統・文化について興味がありますか。 | ある | 71.5% |
| ・外国の人々の暮らしや習慣を調べてみたいと思いますか。 | 思う | 61.0% |

シンポジウム（会場代表生徒30名・他各教室にて聴講）

○テーマ1「スポーツの良さと何か」

金田 ・バレーボールが大好きだったらオリンピックに行けるとアドバイスされた。

スポーツに対する好きな想いが一番。 ・仲間、絆ができる。

・温かい、面白い、泣ける、笑える、喜べる。

＊ジュニア世界大会の金メダルでの国歌が最高の歓喜。

仲田 ・人の心の距離を縮めてくれる。

・内気だった性格が、ホッケーで自分自身を出せるようになり積極的になれた。

・いろいろな人と関わることができる。 ＊北京五輪時、現地での母親の応援が一番の喜び。

桑原 ・上達することで自身ができる。 ・仲間がいて協調性が養われる。

・物事を多角的に見る力がつく。

高村 ・人に感動を与えられる。・感動が得られる。

○テーマ2「現代スポーツの課題、問題点はなにか」

桑原 ・競技人口の減少、フィールドホッケーの普及

高村 ・少子高齢化によるチームスポーツの不成立

金田 ・専門知識の無い指導者が多い、指導者の育成

仲田 ・将来にわたって競技が続けられる環境づくり

○テーマ2の関連で「コロナ禍における安全性について」

金田 ・障害者はリスクが高く、常に気を遣っている。

・競技よりも命を大切にする。

仲田 ・コロナ禍のなか、いろいろな競技間で助け合う機会ができた。

・とにかく今はプラス思考が大事。

○テーマ3「東京オリンピック・パラリンピック大会に期待すること」

桑原 ・競技レベルが上がる。競技人口が増える。

高村 ・プロのプレーが身近で見られる。

仲田 ・競技者、運営者、応援者、日本が一つになる大きなチャンス。

金田 ・オリンピックはトップページになるが、パラリンピックはその次。パラリンピックをもっと知って欲しい。

・開催して欲しいが、中止なら早く決めて欲しい。

○まとめ

- ・チームスポーツも個人スポーツもその良さには共通したものが沢山ある。
- ・コロナ禍のなか、スポーツは健康と安全のうえに成り立っていることを再認識。
- ・金田さん、仲田さんのセカンドキャリアでのご活躍を祈願。
- ・桑原君、高村君の今後の活躍を期待。
- ・これを機に今市高校生のより一層のスポーツへの関わりを期待。